誰もが知らずにリスクを増やしている「社内のNG IT運用」

BCC株式会社

はじめに

静かに忍び寄るIT運用リスク

一見、平穏に見える日常業務。しかし、日々の業務は順調に見えても、実は見えないところでリスクが積み重なっているかもしれません。特に情報システム担当者にとって、日々の業務が「問題なく回っている」ように見えても、それは単に運よく回避されているだけということもあります。

昨日まで使えていた
サーバが突然ダウン

退職者のアカウントが
残っていたことで、
思わぬ情報流出が発生

なぜか勝手にPCが
再起動しログが飛んだ

こうしたトラブルは、必ずしも悪意や攻撃によって起きるとは限りません。「うちの会社は大丈夫」「まだ起きていないから問題ない」といった油断や見過ごしが、深刻なリスクへと変貌します。

©BCC株式会社　IT営業アウトソーシングカンパニー.　All Rights Reserved.　人が集まり、育ち、羽搏く。

よくあるNGな運用例

特に中小企業に多い事例をご紹介します。
ここでは、実際によくあるNG運用を「現象」「背景」「潜在リスク」に分けて整理しました。
自社の状況と照らし合わせながら、見落とされているポイントがないかご確認ください！

NG運用例	背景・原因	潜在リスク
担当者の頭の中にしか業務内容がない	少人数・属人化	担当者不在時に業務が止まる
ベンダー対応がバラバラ	マルチベンダー運用による 責任範囲の分散	障害発生時に原因特定・復旧が遅れる
アカウント棚卸しが形骸化	退職者・異動者のアカウント放置	情報漏えい、内部不正のリスク
トラブルが起きてから対応	リソース不足・先回りの運用改善が 後回し	常に後手に回る。ユーザー満足度低下
IT部門と他部門で意思疎通が できていない	ITリテラシー格差、属人的な情報管理	ミス・誤解・業務停止の原因に

どれも些細なミスに見えますが、
積み重なると企業の信用を脅かす深刻なリスクになります。

©BCC株式会社　IT営業アウトソーシングカンパニー.　All Rights Reserved.　人が集まり、育ち、羽搏く。

何がNGを生んでいるのか？

ありがちな思い込み	その実態・リスク
「予算がないから」	実際にはクラウド活用やアウトソーシングでコストを抑えた運用改善が可能なケースも多い
「前任者がこうしていたから」	時代遅れの運用が非効率なだけでなく、セキュリティホールになっている可能性も
「万が一は起きないだろう」	実際には情報漏えいの約7割が内部要因 （出典：IPA「情報セキュリティ10大脅威」）

「よくある思い込み」を見直すことが、IT運用の第一歩です。

©BCC株式会社　IT営業アウトソーシングカンパニー.　All Rights Reserved.　人が集まり、育ち、羽搏く。

なぜ気づけないのか？ IT運用リスクが潜在化する構造

見えないリスクが見逃される理由とは？

潜在要因	概要	結果として起こること
業務の属人化	特定の担当者しか把握していない業務や設定が存在	引き継ぎができず、対応不能リスク
定常業務に埋もれる	日常の対応に追われ、全体最適や改善の視点が欠如	潜在的なトラブルの見逃し
課題の可視化不足	ログや資産、構成管理が曖昧	問題の予兆に気づけない
コミュニケーション断絶	経営層・他部門との連携が取れていない	IT部門の孤立と判断遅れ

問題が「見えない」のではなく、見ようとしていない構造にこそ、真のリスクが潜んでいます。

©BCC株式会社　IT営業アウトソーシングカンパニー.　All Rights Reserved.　人が集まり、育ち、羽搏く。

NG運用から脱却するための第一歩

Step1　まずは**見える化**からはじめる

多くのIT運用現場で起きている課題の本質は、**「見えていないこと」**にあります。
業務が属人化していたり、誰がどのツールを使っているか把握できていない場合、それ自体がリスクです。
日常のルーティン作業や緊急時の対応フローを可視化するなど第三者が見てもわかる状態にすることが、すべての改善の土台です。

Step2　ルールは**「作って終わり」**にしない

ルールやマニュアルが存在していても、それが機能していなければ意味がありません。
情報システム部門には、設定変更時の承認や退職者アカウントの削除など、平常時には目立たないが非常時には不可欠なルールが多くあります。これらを形骸化させないためには、**月1回のチェックリスト運用（棚卸し・ログ確認・パスワード変更など）**を通じて、**継続的なチェックと微修正を習慣化すること**が効果的です。

Step3　無理せず**「外部の力」**を使う発想

「人が足りない」「時間がない」は多くの情報システム担当者の共通の悩みです。
しかし今では、**クラウドやアウトソーシングを活用**することで、低コストかつ安全に業務を外部化する手段が広がっています。**監視やバックアップなどの定型業務は自動化**し、**アカウント棚卸しやセキュリティチェック**は**レポート付きサービスに任せる**など、外部の力を上手に使い分けることが、これからの運用に欠かせない視点です。

©BCC株式会社　IT営業アウトソーシングカンパニー.　All Rights Reserved.　人が集まり、育ち、羽搏く。

明日から始められる IT運用リスク削減の実践ポイント

トラブル発生時の即応	「記録 → 原因究明 → 改善」で、再発防止へ
リスクアセスメントの習慣化	定期的な棚卸で、潜在リスクを洗い出す体制を
ログの徹底管理	「何が起きたか」を後から確認できるよう、記録ルールを明文
監視ツールの導入	サーバやネットワークの異常をリアルタイムで検知
運用手順を明確に	手順書を整備し、「誰が・いつ・何を」実行するかを見える化
権限の最適化	必要な人に必要な範囲のアクセス権だけを付与

仕組みを整えることで、誰が担当しても安定した運用と迅速な対応が可能になります。

©BCC株式会社　IT営業アウトソーシングカンパニー.　All Rights Reserved.　人が集まり、育ち、羽搏く。

なぜここまでやる必要があるのか？

IT運用リスクの本質は「人」にあるからです！

・システム障害や情報漏えいの多くは、**手順ミスや判断ミス**など、**「人の行動」が引き金**

・明確な手順と権限管理で、**誤操作や判断のばらつきを防止**

・ログの記録や可視化で、**振り返り・教育にも活用可能**

・最終的なリスク対策とは、「**人が間違えにくい仕組みをつくること**」

IT運用における最大のリスクは「人のミス」であり、それを防ぐには、手順の明確化・権限管理・ログの可視化といった「人が間違えにくい仕組みづくり」が、技術的な対策と並んで極めて重要なのです。

©BCC株式会社　IT営業アウトソーシングカンパニー.　All Rights Reserved.　人が集まり、育ち、羽搏く。

まとめ

IT運用における多くのトラブルは、システムそのものではなく、人の判断や行動に起因しています。
設定ミス、対応の遅れ、ルールの未遵守。その多くは悪意ではなく、**情報の属人化や認識のズレ**から生まれます。特定の担当者に依存した運用体制では、**引き継ぎや不在時の対応に大きなリスク**が伴います。
だからこそ、IT運用の安定性を支えるのは**「仕組み」**ではなく、それを扱う**「人」**の理解と行動なのです。
人はミスをする生き物であるという前提に立ち、**ミスを防ぐ仕組みを整えることが重要**です。
明確な手順、見える化されたルール、そして継続的な教育とチェック体制が、リスクを最小限に抑えます。
さらに、外部の力を借りることで、人的リソースの限界を補い、より安全で効率的な運用が可能になります。
「**IT運用の本質的な課題は技術ではなく人にある**」この視点を持つことが、すべての改善に繋がります。

当社ではこうした**システム担当者様の課題をサポートするためのマネージドサービス**をご提供しています！情報システム部門の負担を軽減し、安定した運用を実現する**マネージドサービス「BM Xシリーズ」**についてご紹介します！

詳細は次のページから！

©BCC株式会社　IT営業アウトソーシングカンパニー.　All Rights Reserved.　人が集まり、育ち、羽搏く。

BM Xとは

BCC managed cross

情シスのストレス、BM Xで解消します！

ネットワークは今やビジネスを支える重要なインフラとなりました。
働き方改革を背景に、クラウドが普及した一方で **ネットワークの複雑化** や **運用負荷の増大**が課題となっています。
BM Xは、マネージドサービスとして運用負荷を軽減し、必要な機能を選択・組み合わせることで、シンプルかつ最適なネットワーク環境を提供します。特に、**情報システム部門のリソースが限られた企業**や、**多拠点展開で各拠点にネットワーク専任者を配置できない企業**に最適です。BCCの運用部隊がしっかりと管理し、拠点にネットワーク管理者がいなくても安心してご利用いただけます。

お客様に寄り添い、共にネットワークを創るサービス ～ BM Xシリーズ ～

©BCC株式会社　IT営業アウトソーシングカンパニー.　All Rights Reserved.　人が集まり、育ち、羽搏く。

BM Xについて

必要な機能を選択し、組み合わせるだけ！

貴社のネットワークの課題を聞き出し、最適なソリューションをご提案いたします。

BMX
BCC managed cross

VPN	セキュリティ	ワイヤレススイッチ	クラウドPBX	データバックアップ

ネットワークに関して、機能追加もおこなえ、段階的な導入も可能です。

©BCC株式会社　IT営業アウトソーシングカンパニー.　All Rights Reserved.　人が集まり、育ち、羽搏く。

おすすめお役立ち資料

SASEの基礎を解説！～SASE初級編～

この資料でわかること

✓SASEの市場調査

✓SASEが注目される背景

✓SASEのメリット・デメリット

✓当社のお客様に提案したSASE導入事例

詳しくはこちら ▶

セキュリティ分野で最近よく耳にする言葉や
企業の情報システム担当者様であれば
知っておきたい重要なキーワードについて、
まずは基礎をわかりやすく解説します！

最後に

当社が提供するマネージド・サービス　BM Xはシステム担当者の皆様の負担を軽減するだけでなくシステム運営に必要な人材の雇用・教育などのコスト削減にも繋がります！

ご興味がある方は是非当社までお問い合わせください！

詳しくはこちら

©BCC株式会社　IT営業アウトソーシングカンパニー.　All Rights Reserved.　人が集まり、育ち、羽搏く。

会社概要

商号	ＢＣＣ株式会社
事業所	東京本社　　：東京都千代田区外神田６-15-９ 明治安田生命末広町ビル９Ｆ 大阪本社　　：大阪府大阪市中央区今橋２-５-８ トレードピア淀屋橋９Ｆ
創立	2002年3月
代表取締役社長	伊藤一彦
カンパニー名	IT営業アウトソーシングカンパニー
カンパニー長	松村健太
主要部門	・営業アウトソーシング ・ソリューション
許認可	労働者派遣業（派27-302361） 有料職業紹介事業（27-ユ-302045） プライバシーマーク認定（第10861424(08)号） 電気通信事業（E-28-03972）
主要取引先	株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ) 日鉄ソリューションズ株式会社 ダイワボウ情報システム株式会社 日本電気株式会社(NEC) 富士ソフト株式会社

©BCC株式会社　IT営業アウトソーシングカンパニー.　All Rights Reserved.　人が集まり、育ち、羽搏く。